

インド アンドラ・プラデシュ州政府投資誘致機関との 業務協力覚書の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）は、本日、インド アンドラ・プラデシュ州政府投資誘致機関（以下、「Sunrise AP」）との間で業務協力覚書を締結しました。Sunrise AP との業務協力覚書締結は、邦銀では初めてとなります。また、インドの州政府傘下の投資誘致機関と業務協力覚書を締結するのは、タミル・ナドゥ州産業・貿易促進局（2010年2月）、カルナタカ州投資庁（2012年4月）、グジャラート州工業開発局（2015年1月）に続き、4件目となります。

Sunrise AP は、産業発展と投資促進を担い、外国企業の投資許認可の申請受付やアドバイス等を担っているアンドラ・プラデシュ州政府の主要機関です。当行は、本覚書締結により、日系企業の進出・誘致にかかわる相互協力や、同地域への進出相談会等の共催、現地パートナー選定・諸手続きのサポート等に取り組み、日系企業のアンドラ・プラデシュ州進出をこれまで以上に積極的に推進していきます。

〈みずほ〉は、本覚書締結により、インドならびにアンドラ・プラデシュ州の経済発展に貢献するとともに、当地への新規進出や事業拡大を検討するお客さまの事業展開を従来以上にサポートしていきます。

以 上

（ご参考） アンドラ・プラデシュ州の概要

アンドラ・プラデシュ州（州都：ハイデラバード）は、チェンナイ大都市圏に近く、良好な港が多数あり、東南アジアからのアクセスもよいことから、日系企業の新たな投資先、輸出拠点として注目を集めているインド南部の州です。

州都ハイデラバードは、2024年以降アンドラ・プラデシュ州から分離独立したテランガナ州の州都となるため、アンドラ・プラデシュ州は、新たな州都の開発や産業振興を外資も導入しながら急ピッチで進めており、インフラ開発事業を含め、日系企業の参入機会の増加が見込まれています。